教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 建築学科　　資格： 講師　　氏名： 山口　彩

研究分野	研究内容のキーワード
建築設計、建築計画	クルアーン、イスラーム建築、庭園、自然
学位	**最終学歴**
博士（建築学），修士（建築学），学士（建築学）	武庫川女子大学大学院 生活環境学研究科 建築学専攻 博士後期課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.「ＣＡＤ・ＣＧ応用演習Ｉ」における学生の積極的参加を促す演習の実践	2019年4月～現在	ＣＡＤやＣＧを活用し、学生自身の設計案を検討する基礎的な演習と、図面や透視図等を用いて設計案を美しく、分かりやすいプレゼンテーションすることを目指す。また、建築・都市デザインスタジオで設計・監理をした景観建築スタジオ 東館・西館の設計検討で作成したＣＧパースや動画を用いて授業と実務との関係も示し、学生の授業への参加意欲を促すよう工夫している。
2.2017年度 建築学科 イタリア海外研修 1班	2017年8月20日～2017年9月2日	「海外研修Ｉ」の授業として、建築学科3・4年生19名が参加した14日間のイタリア（8都市）研修の企画・引率を岡崎教授と共同で担当。各見学先では、教員で作成した説明資料を用いて解説し、レーザー距離計での実測や製図の指導も行なった。毎日の研修の様子は、毎日学科ホームページの原稿を作成してリアルタイムで更新して公開した。研修終了後も、実測結果をもとにCAD図面の作成指導や、スケッチ展示も行った。
3.授業内容の学科ホームページ上での報告・公開	2015年4月～現在	演習科目やフィールドワーク科目などの授業内容を学科ホームページ上で報告・公開。
4.「建築設計実務」における実際のプロジェクトへの参画	2015年4月～現在	大学院修士課程「建築設計実務」では、学生が武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオ（一級建築士事務所）を拠点として学内外のプロジェクトに参画し、実務訓練を行っている。 これまで、建築設計や庭園設計、家具、照明器具などのデザインに取り組んできた。演習内では学生自らが作成した図面・透視図・模型・スケッチなどを用いて、施主や専門家へのプレゼンテーションを行っている。
5.フィールドワークや海外研修におけるスケッチの実践	2012年4月～現在	フィールドワークや海外研修にて学生とともにスケッチを作成し、学生に対して作品例として示す。また研修先でスケッチの描き方の個別指導も行っている。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1.大学院生の学会活動支援	2016年～現在	大学院生の学会活動支援を受けるための書類作成の指導・所見欄の記入や、研究発表プレゼンテーションの指導を行うことにより、大学院生の学会での研究成果の発表数の増加に寄与している。
2.留学生支援	2014年～現在	建築学科・建築学専攻に在籍するトルコ人留学生の支援。留学生が受験や奨学金申請、学会発表等の提出書類作成の指導や補助を行っている。留学生たちが生活する上で必要な手続きなどのサポートもしている。
3.学外での設計作品の展示	2012年4月～現在	建築学科でのさまざまな取り組みの紹介のため、学外での作品展示（JIA建築家大会2016大阪（2016年10月）や、阪神電車高架切替記念式典（2017年3月）など）の際に、パネルや動画などを作成している。
4.学内での設計作品の展示	2012年4月～現在	オープンキャンパスや甲子園会館ライトアップ、国際会議などの学内でのイベントにおいて、建築学専攻や

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
5.キャリア支援	2012年4月～現在	武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオで取り組んだ設計作品を、ナレーション付動画の上映や、ポスターや模型の展示を行い、紹介している。 就職活動をする大学院生を対象に、履歴書の添削や、作品シートの指導、面接の際に使用するポートフォリオの指導をしている。また学生の志望する会社に卒業生がる場合は、OG訪問の調整を行なっている。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
1.開閉断熱建具システム	2018年8月21日	岡崎甚幸，森本順子，宇野朋子，猪股圭佑，山口 彩 特許願、出願番号2018-154837
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1.建築学部バーチャルキャンパスツアー	2016年1月～現在	スマートキャンパスの一環で、スマートフォン等などを使用して上甲子園キャンパスをVR体験できるWEBページを公開。建築学科の学生が使用している甲子園会館や建築スタジオの屋内外22箇所を紹介している。また景観建築学科の新校舎については、CGによる360°パノラマ画像を作成し、竣工前の新校舎2棟を疑似体験できるようにした。上甲子園キャンパス360°パノラマ写真撮影からVR体験ページ更新までを担当。
2.建築学科パンフレット・リーフレット	2015年3月～現在	建築学科を紹介するパンフレットについて、在校生へのインタビュー・卒業生からのメッセージ・建築設計実務のページ制作を共同で担当。また2016年6月には、ダイレクトメールでパンフレットと同封するリーフレット制作も担当した。
3.武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 東京センター 共催 講演会シリーズ「シルクロード の文化と建築」	2015年2月～現在	本講演会シリーズでは、シルクロードを通して行われてきた、わが国と地中海を結ぶダイナミックで長い歴史の異文化交流とその文化遺産保護活動について考える。1年間に2回実施。配布資料準備や、講演で使用するスライドの作成、会場設営を担当。
4.武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 東京センター 共催 講演会シリーズ「わが国の近代建築の保存と再生」	2012年4月～現在	国登録有形文化財指定を受けた甲子園会館（旧甲子園ホテル）を大学の校舎として、また建築学科の教材として活用していることから、本講演会シリーズでは、明治以降、西欧文明の影響を受けながら発展を遂げてきた近代建築に関する講演会を開催し、豊かな都市環境の在り方について考える。1年間に2回実施。配布資料準備や、講演で使用するスライドの作成、会場設営、HP原稿作成、記録冊子編集補助(第4回～第7回)を担当。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.The Future of the Bamiyan Buddha Statues - Heritage Reconstruction in Theory and Practice-	共	2020年10月	Springer International Publishing, pp. 331-349	前田耕作，岡崎甚幸，杉浦徳利，山口 彩，宮廻正明，山内和也，他 本書は、アフガニスタン・バーミヤーン大仏再建の将来の可能性について、これまで専門家会議で検討されてきた記録が収められている。Part VIに、国際会議「The Future of the Bamiyan Buddha Statues(主催: アフガニスタン・イスラム共和国, UNESCO, 東京藝術大学. 2017年9月開催)」で発表したバーミヤーン東大仏再建に関する技術的な提案について掲載されている。
2.ランドスケープ作品選集 No.15	共	2020年3月	公益社団法人日本造園学会 発行, pp.130-131, p. 152	岡崎甚幸，森本順子，猪股圭佑，山口 彩 武庫川女子大学 建築・都市デザイン事務所(一級建築士事務所)で設計・監理をした「朝日エティック株式会社 大阪工場 庭園(4.芸術の項を参照)」ついて掲載。審査員による現地審査の選考を通過。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2 学位論文				
1.クルアーンにおける自然の特徴に関する研究 －神および人との関係に着目して－	単	2015年3月	武庫川女子大学大学院博士学位論文	イスラームの教典であるクルアーンの日本語訳「日亜対訳。注解 聖クルアーン」を対象に、そこに記される山・川・谷・木・泉・太陽・月・星（以下、自然の各要素）の特徴を神や人との関係に着目して明らかにすることを目的とした。第1章では、自然の各要素に関する記述を抽出し、神または人との関係に着目して分類し、図式を用いながら自然の各要素の特徴をそれぞれについて明らかにした。第2章では、自然の各要素間に共通する特徴を抽出し、クルアーンにおける「自然の特徴」を導き出した。
2.世界の伝統的集落における住居の中庭と風土の関係	単	2012年3月	武庫川女子大学大学院修士学位論文	世界各地に存在する伝統的集落における中庭を持つ住居を対象とし、中庭の型・中庭の特徴(床仕上、水、平面規模、開放感)・中庭を囲う建物の特徴（建材、中庭に開放された半屋外空間、建物の偏り）の3項目について分析を行った。
3 学術論文				
1.Proposal of Energy-efficient Living Strategies based on Traditional Japanese Environmental Design: the Project of “Kisekae House”（査読付）	共	2019年5月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Vol. 8, pp.17-26	宇野朋子，岡崎甚幸，森本順子，猪股圭佑，山口 彩 先進的な技術や新たな住まい方を提案するZEHのモデル住宅を実際に建築し、住宅の環境・エネルギー性能の測定・実証や、展示を通じた普及啓発を行うプロジェクト。居住者が、季節や毎日の天候、ライフスタイルに合わせて断熱建具、通風建具、ロールスクリーン、可動間仕切りを自由に可変し、日射量（温熱環境）、間取り、外部からの視線などを調整することで、自ら快適な住環境を作り出せるネット・ゼロ・エネルギー・ハウスを提案。
2.Feautures of the Heaven in the Qur’an: Focusing on the Relationship between God and Human Beings（査読付）	共	2019年5月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Vol. 8, pp.27-32	山口 彩，岡崎甚幸 イスラームの教典であるクルアーンに記される天を意味するアラビア語「sama’」310個を対象に、神や人との関係に着目して分類した。その結果、26の類型を抽出し、クルアーンに記される天の特徴を見出すことができた。全文執筆。
3.Design of Hanshin Electric Railway Naruo Station with Plank Sheets（査読付）	共	2017年1月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Vol. 6, pp.23-30	岡崎甚幸，川口衛，田川浩之，杉浦徳利，猪股圭佑，森本順子，山口 彩 阪神電車鳴尾駅における、プランクシートをシェルの構造体として用いるために行った構造実験とそれにより最低限の部材によって構成された駅舎の設計について報告した。下地材が不要なプランクシートによって壁と天井が一体となり、階段やエスカレーター、エレベーター、サインなどが乗降客に対して記号としてくっきりと浮かび上がって見える駅舎空間を実現した。
4.Features of the Earth in the Qur’an: Focusing on the Relationship between God and Human Beings（査読付）	共	2016年7月	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Mukogawa Women’s University, Nishinomiya, Japan, July 16-18, 2016, Proceedings, pp. 93-98	山口 彩，岡崎甚幸 イスラームの教典であるクルアーンに記される大地を意味するアラビア語「ard」451個を対象に、神や人との関係に着目して分類した。その結果、32の類型を抽出し、クルアーンに記される大地の特徴を見出すことができた。全文執筆。
5.Study of the Thermal Bath within Hisham’s Palace by Utilizing a Reconstructed Model and a	共	2016年7月	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Mukogawa	川崎祐華，中村優花，山口 彩，岡崎甚幸 パレスチナのヒシャム宮殿の浴場を対象とし、1/10の復元模型を制作し、内部の光環境シミュレーションを行った。そこでは、複数の小窓から自然光が薄暗い空間に入り、色彩に富んだ床のモザイクタイルに当たって乱反射し、幻想的な空間を作っていることを確認した。分析に用いた復元模型の制作や、光環境シミュレーション、提出原稿作成を担当。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
Simulation of the Internal Space（査読付）			Women's University, Nishinomiya, Japan, July 16-18, 2016, Proceedings, pp. 49-54	
6.Types of Mountains in the Qur'an: With a Focus on the Relationships between God and Man and Mountain（査読付）	共	2014年8月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Vol. 4, pp. 43-49	山口 彩，岡﨑甚幸 イスラームの教典であるクルアーンに記される「山」をを対象に、神や人との関係に着目して分類した。全文執筆。
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
1.宇治平等院 東伽藍 -夕日を望む祭祀空間-	共	2021年9月	2021年度日本建築学会大会(東海)建築デザイン発表	青木友里，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 平等院鳳凰堂の中軸線を意識し、かつて浄土教の寺院で行われていた「迎講」や「踊り念仏」などの儀式を継承するための祭祀の場を設計した。設計指導を共同担当。
2.月を廻る庭	共	2021年9月	2021年度日本建築学会大会(東海)建築デザイン発表	大塚明日香，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 桂離宮・回遊式庭園の苑路と苑池それぞれのシークエンスにおける構成要素の分析結果に基づき、月を鑑賞しながら廻遊できる庭園の設計を行った。設計指導を共同担当。
3.岩窟に仏をみる -耶馬渓古羅漢に懸ける仏堂-	共	2021年9月	2021年度日本建築学会大会(東海)建築デザイン発表	梶山奈恵，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 修験道に関わる建築空間の中には、自然の岩窟を利用して修行の場とした修行窟がある。本設計では古羅漢という特徴的な敷地を選定し、修験道の修行窟を参考とした仏堂を設計した。設計指導を共同担当。
4.ベニスに建つ海上のホテル -繋がる広場と路地空間-	共	2021年9月	2021年度日本建築学会大会(東海)建築デザイン発表	井上栞，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 ベニスの都市構造である小広場と路地の関係を踏襲し、ル・コルビュジエのモデュロールを用いた、ベニスの水辺の景観に調和するホテルを設計した。設計指導を共同担当。
5.崖地に添うリゾートホテル	共	2021年9月	2021年度日本建築学会大会(東海)建築デザイン発表	神谷美穂，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 中世イタリア都市アマルフィの街路空間の特徴の分析結果に基づき、崖地に建つ建築群の新たな姿を提案した。設計指導を共同担当。
6.Lapistal ark -ゴシック様式における「光」を参考とした教会-	共	2020年9月	2020年度日本建築学会大会(関東)建築デザイン発表	石川美紗，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 ゴシック様式における光に着目して教会を設計した。現代の工法を用いることで、より大面積のステンドグラスを用いた大空間を提案。設計指導を共同担当。
7.懸河三閣 -武庫川渓谷に佇む温泉宿-	共	2020年9月	2020年度日本建築学会大会(関東)建築デザイン発表	村瀬怜奈，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 3次元CGを用いた景観シミュレーションを行い、武庫川渓谷の傾斜面に懸造を用いた宿泊施設を設計。設計指導を共同担当。
8.Odeon with Panoramic View	共	2020年9月	2020年度日本建築学会大会(関東)建築デザイン発表	木本明日香，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 古代ギリシアと古代ローマの劇場より着想を得て、劇場空間に自然を取り込み、新たな円形の音楽堂を提案した。設計指導を共同担当。
9.山を魅せる -土地の潜在的な魅力を再認識させるための文化拠点-	共	2020年9月	2020年度日本建築学会大会(関東)建築デザイン発表	岸野文香，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 風景の新たな魅力を創出するために、借景を用い、敷地内より眺望可能な5つの山の姿を切り取り、文化拠点となる専門職大学とAIR(レジデンス、スタジオ・アトリエ)を設計した。設計指導を共同担当。
10.SAKAMIWA -三輪山の拝殿と一之鳥居を中心とした参道 計画-	共	2020年9月	2020年度日本建築学会大会(関東)建築デザイン発表	西條友美，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩 CADによるシミュレーションを用い、参拝者へ一之鳥居の価値を再認識させるための一之鳥居と三輪山の関係を強調する新しい拝殿を設計した。設計指導を共同担当。
11.百舌鳥古墳群世界文	共	2020年9月	2020年度日本建築	元田奈穂，岡﨑甚幸，天畠秀秋，山口 彩

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
化遺産ミュージアム			学会大会(関東)建築デザイン発表	文献調査により古墳築造の背景を考察し、古墳の主軸と方位に着目し、新たな古墳の魅せ方を提案する。百舌鳥古墳群で一番古くに築造された、上石津ミサンザイ古墳の主軸の背後の台地に古墳を復元したような博物館を設計した。設計指導を共同担当。
12.深山幽谷 -山水画の三遠を用いた空間表現-	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.458-459	尾上果帆，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 中国の山水画の空間構成に着想を得て、山水画に描かれる三遠の特徴を用い、広がりのある豊かな風景を創造し、山水画に表現される理想化した風景や、高い精神性を表現し、新たな風景構成の提案を行った。設計指導を共同担当。
13.蓮華ドーム	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.402-403	楠川佳歩，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 生物の形態変化に着想を得て、開花の動きのメカニズムを参考にした開閉構造を持つドームの屋根を提案した。設計指導を共同担当。
14.社寺参詣曼荼羅に着想を得た理想の宗教空間	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.156-157	太田紅葉，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 社寺参詣曼荼羅の空間構成を分析、類型化した結果を基に、岩山や滝等の崇高な自然に畏敬の念を抱くことのできる、日本人にとっての理想的な瞑想空間を設計した。設計指導を共同担当。
15.自然の曲線に着想を得た美術館	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.424-423	粟津里紗子，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 ガウディの設計手法に着想を得て、懸垂線・放物線・黄金螺旋をつなぎ合わせた曲面空間をもつ美術館を設計した。設計指導を共同担当。
16.越天楽 -旋律の空間化-	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.346-347	立川紀子，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 雅楽で最も有名な曲「越天楽」の構成を基に、楽譜記号ごとに意味の異なる空間を対応させ、歩行空間を設計した。設計指導を共同担当。
17.タフティ＝バヒ寺院の復元案	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会(北陸)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.158-159	上田紗希，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 発掘調査報告書や発掘調査員へのヒヤリングを基に、タフティ＝バヒ寺院の形態及び意匠を、建築学的な立場からの仮説として提案した。設計指導を共同担当。
18.朝日エティック株式会社 大阪工場庭園	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.48-49	山口 彩，岡﨑甚幸，猪股圭佑，森本順子 武庫川女子大学大学院建築学専攻では、朝日エティック株式会社より同社大阪工場敷地内に従業員のための庭園の設計依頼をうけ、発注者や施工者と産学連携で庭園設計に取り組んだ。演習で学生が庭園の詳細設計を行い、造園会社の協力を得て造成工事および植樹を体験した。本稿はそのプロジェクトに関する報告。発表・梗概執筆。
19.キセカエハウスのプロジェクトを通した環境教育	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)学術講演会，学術講演梗概集（環境工学Ⅱ）D-2 pp.333-334	宇野朋子，岡﨑甚幸，森本順子，猪股圭佑，山口 彩 学生対抗建築コンペ・エネマネハウス2017で武庫川女子大学大学院建築学専攻が提案したZEH「キセカエハウス」のプロジェクトの全体を通した学生の取り組みと成果を報告。(建築設計実務を共同担当)
20.キセカエハウス -伝統的住環境技術を用いた対話のしつらえ-	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.72-73	川崎祐華,井ノ口果穂,帯辺菜穂,田中佐弥,堀内環美，田村早帆,前田真季,野﨑奈緒美,佐々木みなみ,岡﨑甚幸,杉浦修史,宇澤善一郎,森本順子,宇野朋子,猪股圭佑，山口 彩(建築設計実務を共同担当)
21.キセカエハウス -住み継ぎを可能にするしつらえ-	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.74-75	大原こころ，池澤萌子，上原陽，江口知里，神本希美，永田瑞季，野村侑子，吉住春香，岡﨑甚幸，杉浦修史，宇澤善一郎，森本順子，宇野朋子，猪股圭佑，山口 彩(建築設計実務を共同担当)
22.VERDURE -高層緑化建築-	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.46-47	楠原愛梨，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 住民の緑化への意識向上を目的とし、屋上緑化や壁面緑化などの緑化技術を用いながら、高層緑化建築(集合住宅)を提案した。設計指導を共同担当。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
23.斜面と重なり自然と沿う	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.54-55	橋本夏実，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 傾斜地に建つリゾートホテルを提案。傾斜地によって変化する景観や空間の魅力を活かしながら、庭を通じて内と外が密接につながる建築を目指した。設計指導を共同担当。
24.Vortex Arena	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.234-235	藤井祐帆，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 動きをキーワードに、渦を巻くようなダイナミックな形状の屋根を持つ多目的アリーナ・商業施設の提案を行った。設計指導を共同担当。
25.HENRY MOORE MUSEUM	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.248-249	八木みちる，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 イギリスの彫刻家ヘンリームーアが表現してきた自然や人間の形態の構造やリズムを建築空間に応用し、美術館の提案を行った。設計指導を共同担当。
26.パブロピカソ美術館	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.266-267	原沢朋花，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 ピカソが描いたキュビズム絵画の表現手法を理解する試みとして、4枚のピカソの絵画より構成要素を抽出・解体し、それらの要素を用いて3次元空間を再構成した。設計指導を共同担当。
27.天へと向かう聖堂	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.360-361	吉村陶子，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 初期キリスト教からバロックに至るまでのキリスト教の聖堂建築における内部空間の意味の発達過程を踏まえ、機能や美を超越した新しい聖堂を提案した。設計指導を共同担当。
28.観瀑堂	共	2018年9月	2018年度日本建築学会大会(東北)建築デザイン発表梗概集G-1 pp.364-365	中村芽生，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 日本の自然景観である滝、古来より信仰の対象である滝をテーマとし、滝を眺めるための上下観瀑堂とそれらを繋ぐアプローチ空間を提案した。設計指導を共同担当。
29.Migration Architecture	共	2017年9月3日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築 デザイン発表梗概集G-1，pp.384-385	大原こころ，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 建築や庭園でみられる回遊行動を３つのタイプに分類した上で、空間をめぐることによってこれら３つのタイプの回遊行動を行い、回遊性を感じられる展示空間の提案を行った。設計指導を共同担当。
30.祈りの道を辿る　－海を望む教会 堂へのアプローチの提案－	共	2017年9月3日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築 デザイン発表梗概集G-1，pp.424-425	平田望留，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 長崎の教会堂は、キリシタンたちが迫害から隠れられるように、海や斜面の近くで、舟で訪れるような場所に多い。それを踏まえた敷地を五島列島の島に想定し、桟橋から教会堂に至るアプローチ空間の設計を行った。設計指導を共同担当。
31.Expressionism Architecture	共	2017年9月3日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築 デザイン発表梗概集G-1，pp.432-433	奥野由布子，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 表現主義の建築のように、自己の内面の表現としての建築を設計することを目的とし、新たな展示空間の提案を行った。設計指導を共同担当。
32.バーミヤーン仏教寺院　復元設計 計画	共	2017年9月3日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築 デザイン発表梗概集G-1，pp.136-137	白原綾乃，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 古代のバーミヤーンの寺院を推測した上で、複数の寺院と商業空間からなる復元設計を、一つの仮説として行った。これにより、危機に瀕しているバーミヤーン遺跡の文化的価値が再び見直されることを目的とした。設計指導を共同担当。
33.尼崎の工場敷地内 庭園計画 その 2	共	2017年9月3日	2017年度日本建築学会大会建築(中国）デザイン発表梗概集G-1，pp.156-157	奥田まり，磯上奈穂美，平嶋奈弥，岡﨑甚幸，猪股圭佑，森本順子，山口 彩 本計画は朝日エティック株式会社の大阪工場敷地内に庭園を設計するものである。植栽計画ならびに照明計画の概要、庭園灯の設計について述べる。本計画では、庭園が四季折々の表情を見せるよう植物の選定、配置を行った(図1、図6)。また、オオシマザクラ・モミジ・アラカシといった中・高木をシンボルツリーとして配置し、その周りに歩行空間や人が集い、憩うための空間を計画した。季節毎に表情を変える植物の見どころを存分に際立たせつつ、庭園に適当な明るさを与えるような照明計画を行った。（朝日エティック株式

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				会社大阪工場敷地内庭園の設計、授業における指導。）
34.尼崎の工場敷地内 庭園計画 その 1	共	2017年9月3日	2017年日本建築学会大会(中国) 建築デザイン発表梗概集G-1, pp.154-155	磯上奈穂美，奥田まり，平嶋奈弥，岡崎甚幸，猪股圭佑，森本順子，山口 彩 兵庫県尼崎市に工場を構える、朝日エティック株式会社の工場敷地内の一角に、従業員が安らげる庭園を計画する。対象敷地は沿岸部の埋立地で、海風がきつく、時より突風が吹くなど植物にとって気候条件の厳しい地域である。設計に先立って、クライアントが持っている天龍寺のモミジの苗木を植えたい、従業員と花見をしたいなどの要望があり、さらにこの敷地の一部に２台分の駐車場も含めることが設計条件であった。それらを踏まえて、本設計では日本の回遊式庭園となるようにデザインを行った。（朝日エティック株式会社大阪工場敷地内庭園の設計、授業における指導。）
35.阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 その3 上りホーム床モザイクタ イル画のデザイン	共	2017年9月3日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築デザイン発表梗概集G-1, pp.414-416	ボズクルツベイザヌル，吉野有里恵，山口 彩，岡崎甚幸，川口衛，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子 武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオおよび同大学院 建築学専攻 修士課程1・2 年生の9 名は、阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅 上りホーム床のモザイクタイル画10 点を制作した（2016年度後期に実施）。モザイクタイル画のテーマ決定から、図案検討、現場で施工する一段階前のシート貼りまでの作業について報告する。（阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、建築設計における指導、原稿制作の指導を担当。）
36.阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 その2 プランクシートの表面温 度計測および構造実験	共	2017年9月3日	2017年度日本建築学会大会(中国) 建築デザイン発表梗概集G-1, pp.412-413	山口 彩，吉野有里恵，ボズクルツベイザヌル，岡崎甚幸，川口衛，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，杉浦徳利 プランクシートをシェルの構造体として用いるために行った表面温度計測試験や構造実験の概要、現場での施工について報告する。下地材が不要なプランクシートによるプラットホーム上屋では、階段やエスカレーター、エレベーター、サインなどが乗降客に対して記号としてくっきりと浮かび上がって見える。今回の設計を通して、建築材料、特に仕上材や構造材としては一般的でないプランクシートの有効性を示し得た。阪神電車鳴尾駅におけるプランクシートを構造体として使用し、最低限の部材によって壁と天井が一体の空間を構成する手法は、駅舎など記号性が求められる建築の設計に有効であろう。（阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、発表、原稿作成を担当。）
37.阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 その1	共	2017年9月3日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築 デザイン発表梗概集G-1, pp.410-411	吉野有里恵，山口 彩，ボズクルツベイザヌル，岡崎甚幸，川口衛，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子 武庫川女子大学の玄関口である阪神電車鳴尾駅のプロジェクトにおいて、詳細図やCGパース、模型を作成し、コストや施工方法にも配慮したディテールを検討し、外観やホーム、コンコースなどのデザインを提案した。打合せでは、作成した図面や模型を用いて学生自らがプレゼンテーションを行っている。2015年3月に阪神電車鳴尾駅下りホーム、2017年3月に上りホームが完成した。本稿ではプランクシートを用いたことにより最低限の部材によって構成された駅舎空間の設計について報告する。（阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、建築設計における指導、原稿制作の指導を担当。）
38.Serpente Tower	共	2017年9月2日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築 デザイン発表梗概集G-1, pp.282-283	池澤萌子，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 バロック様式の動的表現にみられるねじれに着目し、建築に巻きつく蛇をデザインモチーフとし、ねじれを外観で表現した超高層建築を提案した。設計指導を共同担当。
39.エル・カズネの前に建つ劇場	共	2017年9月2日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築 デザイン発表梗概集G-1, pp.270-271	神本希美，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 ヨルダンにある遺跡の一つであるエル・カズネの前に、遺跡を舞台背景とし、必要なときのみ組み立てられる仮設の劇場を設計した。設計指導を共同担当。
40.公共建築の中にある「個」の空間	共	2017年9月1日	2017年度日本建築学会大会(中国)建築 デザイン発表梗概集G-1, pp.194-	永田瑞季，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口 彩 人々が集う空間を「集」の空間、一人ひとりのための空間を「個」の空間としてとらえ、両者の関係を築くことができる公共施設を提案した。設計指導を共同担当。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
41.Hisham’s Palaceの浴場の原形の復元模型による検討と内部空間のシミュレーション	共	2016年9月	195 2016年度日本建築学会大会(九州)学術講演会，学術講演梗概集 2016(建築歴史・意匠)，pp. 699-700	川崎祐華，中村優花，山口 彩，岡﨑甚幸 学術論文の項を参照。提出原稿指導を担当。
42.阪神電車鳴尾駅の自由通路の柱におけるモザイクタイル画の制作方法の提案	共	2016年08月26日	2016年度日本建築学会大会(九州)建築デザイン発表会，学術講演梗概集 2016(建築デザイン)，pp. 402-403	髙田悠希，今治こみ加，尾崎綾，谷なつき，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口 彩 阪神電車鳴尾駅の自由通路の柱を題材に、まちの歴史的風景として「鳴尾の一本松」をモザイクタイル画で描く。本稿ではモザイクタイルでの表現方法や柱のディテールについて提案した。（阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、建築設計実務における指導。）
43.阪神電車鳴尾駅の歴史的風景としての「鳴尾の一本 松」の絵の提案	共	2016年08月26日	2016年度日本建築学会大会(九州)建築デザイン発表会，学術講演梗概集 2016(建築デザイン)，pp. 400-401	今治こみ加，髙田悠希，尾崎綾，谷なつき，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口 彩 阪神鳴尾駅自由通路内中央の柱（高さ4700 ㎜、一辺1100㎜）に武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ一級建築士事務所と同大学院建築学専攻修士課程１年による一本松のモザイクタイル画を提案した。この柱は駅改札口前の中央、最も人通りの多い場所にある。街のシンボルとするのにふさわしい場所と考え、この柱に地域の歴史的風景である「鳴尾の一本松」の絵を施すことを検討してる。（阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、建築設計実務における指導。）
44.旧甲子園ホテルの酒場のテーブルの復元	共	2016年08月26日	2016年度日本建築学会大会(九州)建築デザイン発表会，学術講演梗概集 2016(建築デザイン)，pp. 396-397	伊藤知夏，今川泰江，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口 彩 甲子園ホテルは、フランク・ロイド・ライトの愛弟子である遠藤新の設計により1930（昭和5）年に竣工した。本プロジェクトでは、甲子園ホテル時代の写真をもとにそこで使用されていた家具の復元を行い、当時の室内空間の再現を試みた。そのデザインの着想は、甲子園ホテルの建物のデザインを意識し、その特徴を反映させていると推察する。今後、甲子園ホテルの装飾について研究する上でも重要と考え、酒場で用いられていた椅子を復元した。（建築設計実務における指導）
45.旧甲子園ホテルの酒場の椅子の復元	共	2016年08月26日	2016年度日本建築学会大会(九州)建築デザイン発表会，学術講演梗概集 2016(建築デザイン)，pp. 394-395	今川泰江，伊藤知夏，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口 彩 旧甲子園ホテルの酒場の椅子に引き続き、テーブルについても復元を試みた。酒場のテーブルは、椅子とセットで設えられており、旧甲子園ホテルの内部空間を研究する上で重要と考える。（建築設計実務における指導）
46.クルアーンにおける大地の特徴 -神と人との関係に着目して-	共	2016年8月24日	2016年度日本建築学会大会(九州)学術講演会，学術講演梗概集 2016(建築歴史・意匠)，pp. 701-702	山口 彩，岡﨑甚幸 学術論文の項を参照。発表・梗概執筆。
47.Features of the Earth in the Qur’an: Focusing on the Relationship between God and Human Beings（Proceedings，査読付）	共	2016年7月16日	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Mukogawa Women’s University, Nishinomiya, Japan.	山口 彩，岡﨑甚幸 学術論文の項を参照。発表・梗概執筆。
48.Study of the	共	2016年7月	4th	川崎祐華，中村優花，山口 彩，岡﨑甚幸

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
Thermal Bath within Hisham's Palace by Utilizing a Reconstructed Model and a Simulation of the Internal Space		16日	International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Mukogawa Women's University, Nishinomiya, Japan.	学術論文の項を参照
49.クルアーンにみられるイスラームの自然観に関する研究	共	2013年8月	2013年度日本建築学会大会(北海道)学術講演会，学術講演梗概集 2013(建築歴史・意匠)，pp. 551-552	山口 彩，櫻井美里，天畠秀秋，岡﨑甚幸 イスラームの自然観の解明の一端として、本研究はイスラームの経典であるクルアーンの記述から、自然に関する言葉(山､川､月､星､光､木､雨､水､火､天､地)を抽出し、神との関わり方について分類した。その結果、自然に関する言葉それぞれについて(1)神の創造物としての自然、(2)神の権威を表す存在としての自然、(3)神が人間に罰を与える存在としての自然、(4)神が人間を救済・保護する存在としての自然を見出すことができた。発表・梗概執筆。
50.世界の伝統集落における「住居の中庭」と気候の関係	共	2012年8月	2012年度日本建築学会大会(東海)学術講演会，学術講演梗概集2012(建築計画)，pp.1151-1152	山口 彩，岡﨑甚幸 世界各地に存在する伝統的集落における中庭を持つ住居を対象とし、ケッペン気候区分との関係に焦点を当て、中庭の型・中庭の特徴(床仕上、水、平面規模、開放感)・中庭を囲う建物の特徴（建材、中庭に開放された半屋外空間、建物の偏り）の3項目について分析を行った。発表・梗概執筆。
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1.景観建築スタジオ 西館および庭園	共	2021年3月竣工	監理：武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ(一級建築士事務所)	岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，猪股圭佑，森本順子，山口 彩，田中佑奈，船戸理磨子 2020年度に新設された景観建築学科の新校舎および庭園の設計・監理。松や楠の大木のある中庭を挟んで建築スタジオと対面し、プレキャストコンクリートの新たな可能性を追求した。両建物の列柱が、軽やかなリズムを生み出す。景観建築学科2年生以上のスタジオのほか、講評室やラウンジを備える。
2.景観建築スタジオ 東館および庭園	共	2020年11月竣工	監理：武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ(一級建築士事務所)	岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，猪股圭佑，森本順子，山口 彩，田中佑奈，船戸理磨子 2020年度に新設された景観建築学科の新校舎および庭園の設計・監理。東館は大きな屋根と庇のある外観で、景観建築学科1年生のスタジオを設ける。緑釉瓦や石、装飾タイルなどの伝統的材料を現代建築に取り込んだ優美なデザインで、名建築「甲子園会館」のデザインを継承する。
3.Technical proposal for revitalizing the Eastern Buddha Statue	共	2017年9月28日発表	東京藝術大学と共同	前田耕作，岡﨑甚幸，杉浦徳利，山口 彩，宮廻正明，山内和也ほか 2001年に爆破されたバーミヤーン東大仏の再建案を国際会議The Future of the Bamiyan Buddha statues（主催: アフガニスタン・イスラム共和国，UNESCO，東京藝術大学）で日本代表案として発表。東大仏は復元せず、東大仏より1km離れた台地に、東大仏を1/3の大きさに縮小したモニュメントや集会広場、博物館を計画し、技術的な提案も行なった。CADによる透視図・動画・図面などの作成、ホームページ制作を担当。
4.キセカエハウス　－伝統的住環境 技術を用いた対話のしつらえ－	共	2017年4月～2018年2月	エネマネハウス2017	大学と民間企業等の連携により、先進的な技術や新たな住まい方を提案するZEHのモデル住宅を実際に建築し、住宅の環境・エネルギー性能の測定・実証や、展示を通じた普及啓発を行うプロジェクト。居住者が、季節や毎日の天候、ライフスタイルに合わせて断熱建具、通風建具、ロールスクリーン、可動間仕切りを自由に可変し、日射量（温熱環境）、間取り、外部からの視線などを調整することで、自ら快適な住環境を作り出せるネット・ゼロ・エネルギー・ハウスを提案。 優秀賞、特別賞ライフデザイン賞を受賞。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
				「月刊SmartHouse №31(2017.09)」「月刊SmartHouse №32(2017.10)」「月刊SmartHouse №36(2018.02)」「住宅建築(2018.04)」「新建築(2018.02)」「新建築住宅特集(2018.02)」「建築技術（2018.05）」「エネルギーフォーラム(2018.02)」「ビランク(2017.11)」掲載
5.阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅	共	2017年3月18日上りホー ム完成	阪神電気鉄道株式会社，共同設計	岡崎甚幸，川口衛，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口 彩 駅舎の空間が基本的に備えるべき特質である記号性を追求し、波型鋼板を用いて、単純、均質な空間を構成した。階段や改札口、エスカレータ、エレベーター、サインなどが他に邪魔されることなく、くっきりと浮かび上がって見える必要があるため、屋根を支える梁や小梁、照明や通信のための配管などが眼に入らないように、下地材や仕上げ材が一切不要な波型鋼板のディテールを検討した。壁と屋根面が一体となった曲面による空間の中に、上り、下りそれぞれのホーム階を包み込む。これにより、先端技術の象徴でもある、高速走行する電車に良く調和した、流動的でダイナミックな駅舎空間ができあがる。駅舎の外観及び内観デザインなどの設計提案を行っている。
6.就活シェアハウス「CROWSO」外壁のモザイクタイル画制作	共	2016年10月21日完成	株式会社ディーマン	岡崎甚幸，山口 彩，森本順子，猪股圭佑 株式会社ディーマンから委託を受け、就活シェアハウスの壁面モザイクタイル画(幅4m× 高さ2.2m）の制作を行った。「翔」と名付けた絵の中に就職活動に励む学生たちへのメッセージを込めている。建築学専攻修士課程1,2年生の授業「建築設計実務Ⅰ・Ⅱ」で実施した。設計、図案制作、現場監理を担当。
7.上甲子園キャンパス庭園灯のデザイン	共	2016年9月～2017年11月	株式会社朝日エティックとの共同制作	岡崎甚幸，森本順子，猪股圭佑，宇澤善一郎，山口 彩 上甲子園キャンパスに設置する電球型LED照明を使ったポール型の庭園灯をデザインした。
8.Hisham’s Palace浴場の鞘堂設計	共	2016年7月	JICA(国際協力機構)，東京文化財研究所	岡崎甚幸，山口 彩，川崎祐華，杉浦徳利 JICAから委託を受け、東京文化財研究所と共同で企画。ヒシャム宮殿（パレスチナ・ジェリコ）の浴場に残るモザイクタイル床を保護するための鞘堂の設計。さらに周辺環境と調和した鞘堂のデザインを提案し、CADと現地写真の合成による景観シミュレーションを行った。設計、CADによる透視図・動画・図面などの作成、ホームページ制作を担当。
9.尼崎の工場敷地内 庭園計画	共	2016年5月～2017年11月竣工	株式会社朝日エティック	岡崎甚幸，山口 彩，森本順子，猪股圭佑 尼崎の埋め立て地にある工場敷地内の緑地に、従業員の休憩スペースとなる庭園の設計。設計，庭石選定，現場測量，製図，施主や施工業者との調整，現場監理，施工（植樹）を担当している。
10.旧甲子園ホテル 酒場の家具の復元	共	2015年9月～2016年2月		岡崎甚幸，森本順子，猪股圭佑，山口 彩 甲子園会館・アートショップの家具更新ため、旧甲子園ホテル時代に使用されていた椅子とテーブルを復元。家具図面や原寸模型の制作。
11.花山天文台 将来構想	共	2015年5月	京都大学大学院理学研究科附属天文台 花山天文台	岡崎甚幸，杉浦徳利，天畠秀秋，山口 彩，川崎祐華 京都大学　花山天文台の将来計画。花山天文台には、本館、別館、歴史館、太陽館、新館の5つの建物があり、本館は、建築家　大倉三郎が設計した、45cm屈折望遠鏡が設置されたドームを持つ建物。現存する建物はそのまま残し、展示室を併設したプラネタリウム棟や、野外劇場、広場、店舗、カフェ、宿泊棟などを提案した。敷地調査、図面作成、3Dモデルを用いたイメージパースや動画の制作を担当。
12.バーミヤーン博物館基本計画2013（BAMIYAN MUSEUM & CULTURE CENTER FOR PEOPLE）	共	2013年12月	UNESCO、東京文化財研究所	岡崎甚幸，杉浦徳利，柳沢和彦，鈴木利友，天畠秀秋，宇野朋子，森本順子，伊勢文音，本郷佑奈，山口 彩 UNESCOから委託を受け、東京文化財研究所と共同で企画。世界遺産バーミヤーン(アフガニスタン）における考古学資料等の展示・保管・研究を行う博 物館と地域住民に開かれたカルチャーセンターの設計。2012年に発表した案をさらに検討した。模型作成、報告書作成を担当。
13.ペトラ博物館　基本計画2013	共	2013年10月	JICA(国際協力機構)，東京文化財研究所	岡崎 甚幸，杉浦 徳利，鈴木利友，天畠 秀秋，猪股圭佑，伊勢 文音，本郷佑奈，森本 順子，山口 彩 JICA(国際協力機構)が支援を行っている世界遺産 ペトラ(ヨルダ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
				ン)に建設する博物館の基本計画2013。東京文化財研究所との共同企画。2012年に構想した案を縮小し、全４案（案1: 前回縮小案、案2: 曲面壁 2階案、案3: 平面壁平屋案、案4: 曲面壁平屋案)を設計し、それらの環境評価を行った。案3の設計を主担当。
14.バーミヤーン博物館基本計画2012（BAMIYAN MUSEUM & CULTURE CENTER FOR PEOPLE)	共	2012年12月	UNESCO，東京文化財研究所	岡崎 甚幸，森本 順子，山口 彩 UNESCOから委託を受け、東京文化財研究所と共同で企画。世界遺産バーミヤーン(アフガニスタン）における考古学資料等の展示・保管・研究を行う博物館と地域住民に開かれたカルチャーセンターの設計。設計，図面作成，模型制作，報告書作成。
15.ペトラ博物館 基本計画2012	共	2012年10月	JICA(国際協力機構)，東京文化財研究所	岡崎 甚幸，鈴木利友，天畠 秀秋，森本 順子，山口 彩 JICA(国際協力機構)が支援を行っている世界遺産 ペトラ(ヨルダン)に建設する博物館の基本計画2012。東京文化財研究所との共同企画。図面作成や模型制作を担当。
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.Technical proposal for revitalizing the Eastern Buddha Statue		2017年9月28日発表	国際会議「The Future of the Bamiyan Buddha statues（主催: アフガニスタン・イスラム共和国，UNESCO，東京藝術大学）」	前田耕作，岡崎甚幸，杉浦徳利，山口 彩，宮廻正明，山内和也ほか バーミヤーンの東大仏再建案を日本代表案として東京藝術大学との共同発表。東大仏より1km離れた台地に、東大仏を1/3の大きさに縮小したモニュメントや集会広場、博物館を計画し、技術的な提案も行なった。
６．研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2017年4月～2019年3月	日本建築学会 建築書と建築理論［若手奨励］特別研究委員会 委員
2.2014年2月～現在	日本造園学会
3.2012年4月～現在	日本建築学会